

奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場

菊花開（きくはなひらく 七十二候）  
 菊の花が咲き始めるころ。各地で菊まつりや菊の品評会が開かれます。菊が咲くころ、青空が晴れ渡ることを菊晴れといいます。菊の花は奈良時代、中国から日本に伝わり、初めは薬草として使われていたそうです。

## 今、知りたい～現場進捗～

柱の上部にある材斗だいとを組み立てる作業をしています。柱の上部へ補強プレートや大釘の打ち付け作業中です。



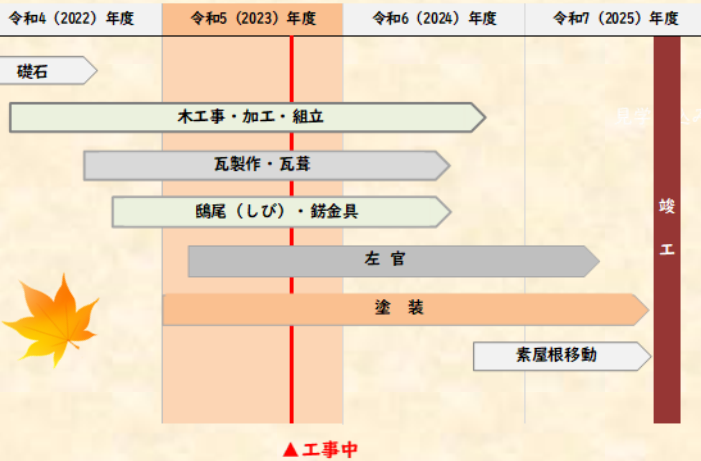
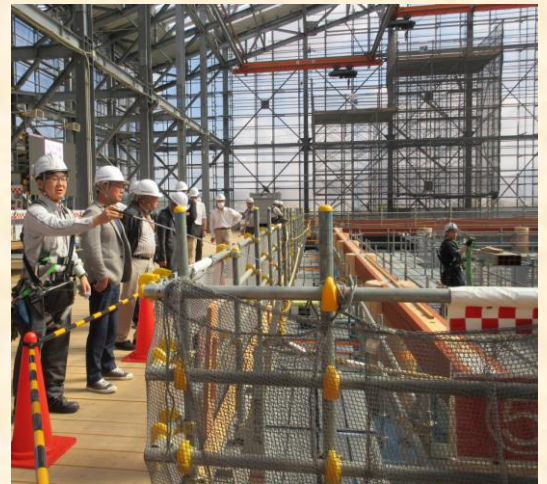
## 魅せる現場 第四回見学会

## さあ行こう！～魅せる！現場～

日時：令和5年10月17日（火）  
 参加：13名

第4回目の魅せる現場には、伊賀市の建設業関係者他13名が参加しました。参加した見学者からは次のような意見が寄せられました。

- ・「伝統技術を用いた施工への取組に感動」
- ・「BIMの活用など伝統技術と最新技術の融合が印象深い」
- ・「荒壁土あらかべの造成現場が印象に残った」



## 豆知識（木材の搬出編）

今回の工事で使用する柱などの長尺大径材の一部は道の繋がっていない山奥から切り出しています。ヘリコプターで輸送可能な重量にするため、伐採した山で製材してから輸送しています。

昭和30年前半までは人力で搬出しており、山には牛道が残されています。現状では長尺大径材の約9割がヘリで搬出しています。

宮大工による作業見学・荒壁土あらかべの造成見学・3Dモデルを用いた鴟尾しびの解説により、伝統技術と共に生産性向上に関わる技術について理解を深めてもらいました。

■現場見学ガイド ～魅せる！現場～  
 ～2024年12月末※（終了時期未定）

■申込みサイト

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み



■近畿地方整備局 京都管轄事務所

6,06-8395

京都市左京区丸太町通川端東入ル東丸太町34-12

京都管轄事務所

